

校長から学生の皆さんへ

旭川工業高等専門学校長 高橋 薫

始業・休業から遠隔授業へ

4月の入学式と始業式を終え、授業が始まりましたが、新型コロナウイルスの影響で1週間足らずで5月10日（日）までの間、臨時休業になってしまいました。その後、皆さんには遠隔授業実施のための調査、遠隔でのHRの実施、遠隔授業の試行と行ってきました。その間、政府の緊急事態宣言が発令され、その後も道内は札幌を中心として感染の収束には至っていません。

そこで、引き続き感染防止の観点から、5月11日（月）以降も当分の間、通常の形の登校型授業は行わず、基本的に遠隔授業の実施を通して学校を再開することとしました。寮も合わせて開寮を見合わせることにしました。

授業等に関するお願い

本科・専攻科とも、当分の間、実験・実習等を除き、遠隔で授業を行います。基本的に毎日、出席・体調確認や連絡事項のために朝のHRを設け、その後遠隔授業を実施します。教務担当から、授業の時間割を皆さんにお知らせしますので、必ずHP等で定期的に確認してください。

遠隔授業だからと言って、普段と違う思いは持たないようにしてください。出席や成績をきちんと管理した上で、単位認定をすることになりますので十分に注意してください。遅刻も把握しますので、普段の対面授業と同様の心構えで授業に臨むようにしてください。

新1年生においては学校に馴染む間もなく、このような授業形式になってしまっていて大変戸惑っていることと思います。申し訳ありませんが、まずはHRや遠隔授業を通して高専の授業と生活に親しんでいただき、通常の形の授業になってから本来の姿に馴染んでいただければと思います。

5年生、専攻科2年生においては、進路の大事な時期にこういう事態になってしまいました。就職、大学編入、大学院進学に当たって不安なことがたくさんあると思います。学級担任、進路担当の先生、研究室の先生と密に連絡をとり、アドバイスを受けながら対応してってください。

授業以外に必要な臨時登校があるかも知れません。関係の先生の許可又は指示を受け、健康チェックの上、マスクを着用して登校してください。

部活動・課外活動については、当分の間、全面的に禁止しますのでご理解をお願いします。

登校型授業の再開について

政府の緊急事態宣言の状況及び北海道の状況、特に札幌・旭川の感染状況を慎重に考慮した上で、通常の形に近い登校型の授業を再開するかどうか判断します。それまでは自宅からの授業参加になりますので、ストレスの適切な発散、きちんとした生活・健康管理を心がけて過ごすようにしてください。学生相談は常時受け付けていますので、窓口を通して相談してください。

寮生においては、戻ってくるまでに、寮内の消毒液等の設置はもちろん、居室や食堂での感染防止対策を可能な限り行っておきますことをお伝えしておきます。

皆さんには、コロナに打ち勝ち、勉学、部活動・課外活動、また自身のやりたいことをできる日が近いうちにきっと来ます。それまではまず、不要不急な外出自粛、マスク着用や手洗いなど、感染防止に努めていきましょう。